



よい子 つよい子 できる子

新井小学校たより 1月号

令和2年1月24日

HPアドレス <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/arai-s/>

本物の〇年生になるためには？

校長 宮野 正則

令和2年がスタートしました。1月は1年の始まりですが、学校にとってはまよめの3学期の始まりであり、次年度への準備期間になります。今年度の目標の達成状況を評価・点検し、やり残しがないように確認し合って教育活動に取り組んでいきます。

ここ数年、学校にも組織マネジメントが浸透・定着してきました。Plan 計画→Do 実施→Check 評価→Action 改善と、学年・学級あるいは学校全体の教育活動等をPDCAサイクルで展開することによって、充実・改善を図っていく手法もその一つです。3学期は、学校評価を基にして今年度の教育活動を振り返り、成果と課題を整理しながら改善策を検討し、次年度の教育計画に生かしていきます。

子どもたちにも3学期を今年度のまよめと次年度の準備期間であることを意識づけるために、1月8日の始業式で、次のような話をしました。

3学期は、学校生活のまよめの学期。学校に通う日は、52日で、1年間で一番短い学期だが、1年間のまよめをする、とても大切な学期である。

みなさんは、3学期を終了すると、6年生は小学校を卒業して中学校へ進学する。他のみなさんは、学年が一つずつ進級する。1年生は4月から新1年生を迎え、お兄さん、お姉さんになる。しかし、ただ進級するのではない。

私は、みなさんから本物の中学生、本物の6年生、5年生、4年生、3年生、そして2年生になってほしい。本物になるためには、どうしたらよいか。それは、それぞれの今の学年のまよめをきちんとすることである。4月に立てた学級目標を毎日意識しながら学級生活を送る。学習面では、今の学年で学習したことをきちんと身に付ける。テストで間違えたりわからなかったりしたことはすぐに復習する。生活面では、決まり正しく、思いやりのある言動をとる。委員会や係活動、当番の仕事に責任をもってやり遂げる。家庭ではテレビやゲームの時間を守り、自分から進んで家庭学習をするなど。

さらに、5年生は最高学年になるために6年生からしっかりと受け継ぐ。6年生は、最高学年のバトンを5年生につなぐ。そうしたことを意識しながら取り組むことで、5年生は本物の6年生になれるし、新井小学校の伝統が築かれていく。

3学期は、52日。“1月は行く、2月は逃げる、3月は去る”と言われる。短い学期なので、これまで以上に1日1日を大切に過ごしていこう。



先生方もみなさん一人一人をしっかりと見守り、励まし、応援する。「本物の〇年生になる」を意識して3学期の学校生活をがんばってほしい。

“終わり良ければすべて良し”と言われる。全校児童433名が健やかに成長し、卒業証書授与式を迎えることができるよう、教職員一同がんばります。

健康教育の取組

体も

歯も

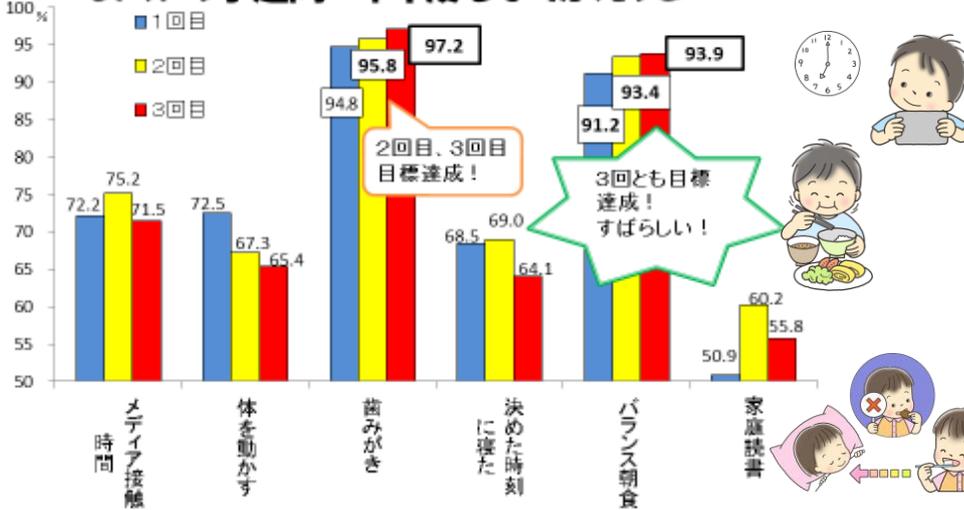
よい子 つよい子 できる子に!

心も

元気! あらいっ子



あらいっ子週間 昨年度をふいかえて...



【学校の目標値】

- ◆ 80%以上
メディア接触時間
体を動かす
決めた時間に寝た
家庭読書
- ◆ 90%以上
バランス朝食
- ◆ 95%以上
寝る前の歯みがき

◎「バランス朝食」が3回とも目標達成でした。朝食は、1日の活動に欠かせないエネルギー源です。これからも、家族みんなでバランスを考えた朝食をとって元気に過ごしましょう!

◎「寝る前の歯みがき」は100%目指したいことです。忘れずに歯みがきしてから寝る習慣を付けてほしいです。

▼「決めた時刻に寝た」「家庭読書」の達成率が低いです。メディア接触の時間を守るために、読書をしている人が多いのですが、毎日続けることは難しかったようです。また、成長期の小学生にとって、睡眠はとても大切です。声を掛け合って、早めに布団に入るようにしましょう。

★今年度の3回目あらいっ子週間は、2月に実施します。病気に負けない丈夫な体をつくり、元気に学校生活を送るために、正しい生活リズムが身に付くよう家庭でもご協力をお願いします。

《歯の健康...年間通して取り組んでいます。》

歯科衛生士さんによる歯みがき指導
4年生と1年生は親子で指導を受けます。



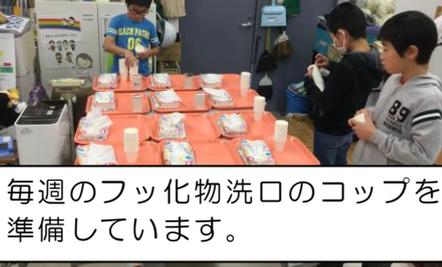
歯に関する掲示物(保健室前の廊下)
一生使う大切な大事な歯を守りましょう。

《児童保健委員会活動》

清潔な新井小のために、手洗い用のシャボネット補充やトイレトペーパーの点検をしています。



各教室に行って、歯みがき指導ができるように、委員会時間に練習をしています。



毎週のフッ化物洗口のコップを準備しています。

体力テストの結果から

○高い ×低い -同等

		県平均値との比較											
		男子						女子					
項目名	体力要素	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
・握力	筋力	/	/	-	○	-	○	/	/	-	○	○	○
・上体起こし	筋持久力	/	/	×	×	×	×	/	/	×	×	-	×
・長座体前屈	柔軟性	/	/	-	-	×	×	/	/	×	-	×	×
・反復横とび	敏捷性	/	/	×	×	×	×	/	/	×	×	×	×
・シャトルラン	全身持久力	/	/	×	○	○	×	/	/	-	-	×	×
・50m走	スピード	○	-	-	-	-	×	-	○	○	○	-	-
・立ち幅とび	筋パワー	/	/	-	-	×	×	/	/	○	○	×	×
・ボール投げ	巧緻性	○	○	-	○	○	-	×	-	-	○	○	○

※1、2年生は2種目（50m走とボール投げ）のみの実施としました。

○ボール投げ（巧緻性）について、県平均と比較し、概ね同等か上回る結果となりました。また、50m走（スピード）も年々向上傾向にあります。

▲課題は、上体起こし（筋持久力）、長座体前屈（柔軟性）と反復横跳び（敏捷性）であることが分かりました。

▲2極化傾向は、当校でも同様の課題となっています。

そもそも体力テストって？

8項目で実施し、計測している体力テストですが、この数値を上げることが目的ではなく、日常生活の中に運動に親しむ態度があること、遊びの中で育まれてきたものが結果としてこの数値に現れてくることが望ましいと考えます。

新井小の子どもたちの実態は

全国の体力テストの上位校（学校の平均値が高い）に共通する要素は、「運動やスポーツなど、体を動かすことが好きなこと」「体育の授業が楽しいと感じていること」の2点です。

当校の児童もアンケートの結果から、2項目ともに90%以上の児童が肯定的に感じていることが分かりました。今後とも、「生涯に渡り、運動やスポーツに親しむこと」を目指し、体育授業や休み時間等、学校生活のより一層の充実を図っていきます。



食育の取組

「食育」とは、食に関する知識と食を選択する力を身に付け、健全な食生活を送れるようにするための教育です。また食べることは、知育、徳育、体育の基礎となるもので、誰もが元気でいるために、「食育」は生涯にわたって大切な取組です。

1 身近な食育「学校給食」

家では食べないものも給食だと食べられる！そんな不思議なパワーがある給食。年間約190回の給食の時間を通じて、栄養バランスや食事のマナー、初めての食材や味との出会い等、さまざまなことを体験し、学んでいます。

また、毎月8日を『和食の日』、19日を『ミョーコーさん給食の日』として、妙高市内全校で季節にあった和食や、妙高の郷土料理や地場産物を使用した料理を食べることで、『ふるさと妙高』を大切に想う心を育てています。

食べることの楽しさを伝えるため、いろいろな献立が登場します！



2 食育授業の実施

総合的な学習の時間や学級活動の時間などで、栄養教諭と一緒に学年の実態に合った食育の授業を実施しました。

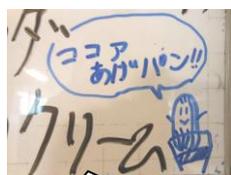
左写真は、2年生が「野菜パワー」について、右写真は、4年生が「食べ物の3つのグループ」について学んでいる様子です。

この学びを通して、バランスよく食べることの大切さ、普段の自分の食生活や食べ方を振り返る貴重な時間になりました。



3 給食委員会の活動

給食委員会の日常活動のひとつとして、児童玄関に置いてある献立ボードの記入を行っています。児童に給食の献立を知らせるとともに、使用食材を『赤・黄・緑』のグループに分けることで、食べ物が体の中に入るとどんな働きをするのかを伝えています



見てもらえるように、イラストを描いています。



また、なかよし友だちチームごとに食べる「ふれあい給食」や「秋のおはなし会給食」の日には、放送でクイズを出題しました。各教室がとても盛り上がり、普段とは違った楽しい給食の時間を提供することができました。